

磨き合う緑陽

～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

日曜	日課部活下校	学年	1日の流れ(生徒の活動)							校内関係 各種行事	備考
			1	2	3	4	5	6	放課後		
13月☆	特45	1							／	放)委員会(6月)+第2回係会 ⑤→清掃→体育祭練習→帰りの会→係会 係会は終わり次第下校 体練○	⑤時 13:15～14:00 清掃 14:10～14:20 体育祭練習14:35～15:05 帰りの会 15:15～15:35 第2回係会 15:45～16:30 最終下校 16:45
	×	2							／		
	16:45	3							／		
14火☆	50	1	火1	学練	火3	火4	火5	火2	②③④学年練習 時間割変更有 体練×	ふれあい 13:10～13:30 ⑤時 13:35～14:25 ⑥時 14:35～15:25 清掃 15:35～15:45 帰りの会 15:55～16:15 最終下校 16:30	
	×	2	火1	火2	学練	火4	火5	火3			
	16:30	3	火1	火2	火3	学練	火5	火4			
15水	50	1						学	3年生第1回実力テスト ⑥中間振り返り 体練○	ふれあい 13:10～13:30 ⑤時 13:35～14:25 ⑥時 14:35～15:25 体育祭練習15:40～16:00 帰りの会 16:10～16:30 最終下校 16:45	
	×	2						学			
	16:45	3	国	数	英	理	社	学			
16木	特45	1						総	⑥体育祭総練習(1回目) 歯科検診(3年・1年1クラス)9:30 体練○	ふれあい 12:50～13:10 ⑤時 13:15～14:00 全体練習 14:15～15:25 体育祭練習 15:35～16:00 帰りの会 16:10～16:30 最終下校 16:45	
	×	2						総			
	16:45	3						総			
17金☆	特45	1				道			放)団対抗リレーの練習 体練○	清掃 15:05～15:15 体育祭練習 15:30～16:00 帰りの会 16:10～16:30 最終下校 16:45 団対抗リレー16:40～17:05 最終下校(団R) 17:15	
	×	2				道					
	16:45 17:15	3				道					
18土		1									
19日		1							緑苑青少年育成委員会(校長)		
		2									
		3									
20月	特45	1						／	放)第3回係会(15分程度) 体練○	清掃 15:05～15:15 体育祭練習 15:30～16:00 帰りの会 16:10～16:30 最終下校(係会なし) 16:45 第3回係会 16:40～16:55 最終下校(係会あり) 17:10	
	×	2						／			
	16:45 17:10	3						／			

「心を一つにする」ということ

みなさんの年齢だと東日本大震災は聞いたことがある、という状況ですね。東日本大震災が起きた後によく流れていたCMのフレーズの中に「『心』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える」というものがありました。ここにあるように「心」は見えません。その見えないものを「一つにする」とはどういうことでしょうか。今回はそこについて考えます。

「あいさつをする」というのは行為ですが、その行為の背景には「相手を大切に」「相手の存在を認めている」など「心」があります。このように何事にも行為の背景には「心」があると先生は思います。

先日、授業で「欠席した場合、遅れてでもいいから配付された資料で読み取りを提出してください」と伝えました。そうしたら、あるクラスの社会科係が「先生、〇月〇日に休んだ子が誰か教えて下さい。先生が言っていたことを伝えようと思って。」と言ってきました。休んだ子に対する「思いやりの心」が見えた瞬間で、何だかうれしくなりました。

行為や言葉にすることで内にある「心」や「思い」が表出されます。それは、あいさつ、清掃、授業での学び合い、当番活動、そして体育祭の競技練習などすべての場面で見えるのです。各団が応援の動きをするのは、みんなで同じ行動をすることで、みんなの心を一つにしようとしているのです。だから、その応援から思いっきり声を出し合うことは「『本気』という思いを一つにすることになる」のです。是非、一人一人が本気で体育祭に挑んで、心を一つにしていこう！

梅村亮介のどうでもいい話～「チョコだけじゃちょっと悲しい」～

みなさんの期待に応じてファミ○のホワイトチョコレートストロベリーフラッペ(長っ!)を飲んだ梅村です。ホワイトチョコに対する先生のイメージが、「めっちゃ甘い!」というもので、少し避けていたのです。しかし、先週の週報を読んだ方々から「もう飲みましたか?」「来週はホワイトチョコのどうでもいい話ですね」などと声をかけていただき、これは期待されているに違いない!と勘違いした先生は飲んでみたわけです。甘すぎるのでは?という心配は、シェイクのような甘さだったし、ストロベリーの酸味があるので大丈夫でした!でも、個人的には通常の方が好きです。この話はこれでいいんです。本題は次です。「①フラッペと同時に次の日の朝に食べるようにチョコクロワッサンを購入」→「②チョコクロワッサンをフラッペマシンの横に置いて、フラッペ作成」→「③フラッペ完成したので、蓋とストローをゲットして車へGO」。さて、①～③でおかしなところに気付けたでしょうか?・・・時間切れ～!答えは「チョコクロワッサンを置いてコンビニから帰ってしまった」です。気付いた時、絶望しかなかったです。先生のチョコクロワッサンは棚に戻り、今頃誰かの腹の中にあることでしょう(;ω;)」